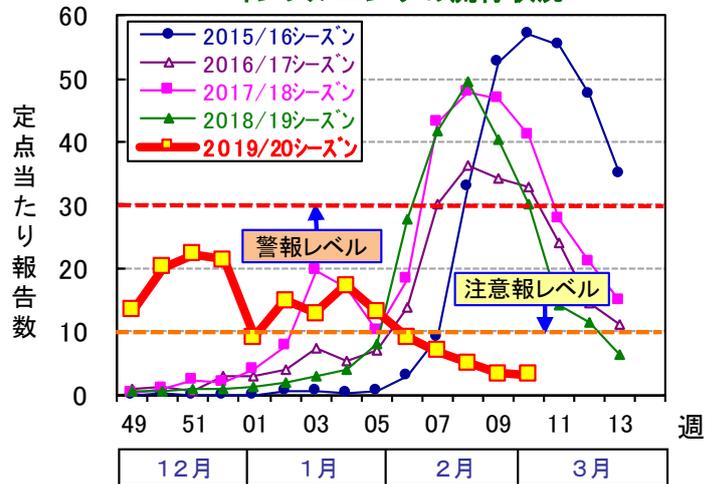


■コメント

- 新型コロナウイルス感染症**
広島市内で新型コロナウイルス感染症患者の発生が初めて報告されました。(次頁参照)
- インフルエンザ**
定点当たり3.25人の報告がありました。小児や高齢者、免疫力の低下している方では重症化する場合があるため注意が必要です。引き続き、感染予防対策を心がけましょう。
- 百日咳**
4件の報告があり、今年の累計は22件となりました。報告数が多い状況が続いており、注意が必要です。

インフルエンザの流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号
フィリ	インフルエンザ	117	3.25	10.11	→	小児科	流行性耳下腺炎	1	0.04	0.73	
小児科	咽頭結膜熱	19	0.83	0.22	↗	小児科	RSウイルス感染症	9	0.39	0.20	↘
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	55	2.39	2.96	↔		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03
	感染性胃腸炎	79	3.43	8.90	↔	眼科		流行性角結膜炎	2	0.25	0.33
	水痘	16	0.70	0.25	↑		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-
	手足口病	3	0.13	0.13		無菌性髄膜炎		-	-	0.06	
	伝染性紅斑	11	0.48	0.38		マイコプラズマ肺炎		1	0.14	0.12	
	突発性発しん	7	0.30	0.35		クラミジア肺炎(オウム病を除く)		-	-	-	
	ヘルパンギーナ	3	0.13	0.03		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	0.14	1.03		

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	↔		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	2	25	女性(40歳代)、男性(70歳代)
5	侵襲性肺炎球菌感染症	2	6	男性(10歳未満)、男性(60歳代)
5	梅毒	1	20	女性(20歳代)
5	百日咳	4	22	男性(10歳未満)・2人、女性(10歳未満)・1人、女性(50歳代)・1人
指定	新型コロナウイルス感染症	1	1	男性(30歳代)

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	週	インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎	(ロタウイルス)	感染性胃腸炎	
			第6週	339	8	41	161	17	-	10	5	1	-	11	-	7	-	-	2	-	-	-
第7週	257	11	45	139	3	1	12	9	-	-	7	-	1	-	-	2	-	-	-	-	-	
第8週	182	9	52	139	10	3	4	10	-	2	12	-	4	-	-	5	-	-	-	-	-	
第9週	126	11	49	88	7	1	8	4	-	-	16	-	1	-	-	3	-	-	-	-	-	
第10週	117	19	55	79	16	3	11	7	3	1	9	-	2	-	-	1	-	-	-	1	-	
定点当たり	広島市	第6週	9.16	0.33	1.71	6.71	0.71	-	0.42	0.21	0.04	-	0.46	-	0.88	-	-	0.29	-	-	-	-
		第7週	6.95	0.46	1.88	5.79	0.13	0.04	0.50	0.38	-	-	0.29	-	0.13	-	-	0.29	-	-	-	-
全国	第8週	第8週	5.06	0.39	2.26	6.04	0.43	0.13	0.17	0.43	-	0.09	0.52	-	0.50	-	-	0.71	-	-	-	-
		第9週	3.50	0.48	2.13	3.83	0.30	0.04	0.35	0.17	-	-	0.70	-	0.13	-	-	0.43	-	-	-	-
第10週	第10週	第10週	3.25	0.83	2.39	3.43	0.70	0.13	0.48	0.30	0.13	0.04	0.39	-	0.25	-	-	0.14	-	-	0.14	-
		第8週	6.12	0.39	3.66	5.57	0.40	0.11	0.30	0.30	0.02	0.05	0.29	0.01	0.44	0.01	0.02	0.39	0.01	0.01	0.01	0.01
第9週	第9週	第9週	4.77	0.33	2.99	4.13	0.38	0.09	0.25	0.25	0.02	0.05	0.28	-	0.42	0.03	0.02	0.35	-	-	0.03	-

■新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(41.9) 下痢 肝機能障害 腎機能障害 出血傾向 意識障害 ショック症状	66	男	2020/01/15	咽頭拭い液 鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
感染性胃腸炎	発熱(38.2) 咽頭炎 嘔吐 意識障害	3	男	2020/01/29	咽頭拭い液	ライノウイルス
急性出血性結膜炎	結膜炎 結膜出血 結膜充血 眼脂	29	男	2020/01/08	結膜擦過物	アデノウイルス37型
その他の疾患	発熱(39.0) 紅斑 肝機能障害 黄疸 リンパ節腫脹 鼻炎	2	女	2020/01/10	咽頭拭い液	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型

* 感染症発生動向調査に基づく病原体定点搬入分のみ掲載

★新型コロナウイルス感染症について

2020年3月6日、広島市内で新型コロナウイルス感染症患者の発生が初めて報告されました。新型コロナウイルスは、現時点では、飛沫感染と接触感染により感染すると考えられています。感染症対策の基本は、「手洗い」や「咳エチケット」です。また、できる限り混雑した場所を避け、十分な睡眠をとることも重要です。

【手洗い】

ドアノブや電車のつり革など、様々なものに触れることにより、自分の手にもウイルスが付着する可能性があります。外出先から帰宅した時や調理の前後、食事前などこまめに石けんで手を洗いましょう。洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かしましょう。

【咳エチケット】

咳などが出るときは、飛沫にウイルスが含まれているかもしれません。咳エチケットとは、感染症を他の人にうつさないために、咳やくしゃみをする際、マスクやティッシュ・ハンカチ、袖、肘の内側などを使って、口や鼻をおさえることです。咳などの症状がある方は、咳エチケットを行いましょう。

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新情報等については、以下のホームページからご確認ください。

・新型コロナウイルス感染症について(厚生労働省)

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000164708_00001.html

・新型コロナウイルス感染症に関する情報(広島市ホームページ)

<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター一丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp

2020年第10週(3月2日～3月8日)